

平成 29 年度 第 4 回  
**「地盤工学会誌」編集委員会 運営委員会**  
**議事録**

(当日版)

日 時 : 平成 29 年 10 月 5 日 (木) 14:30~17:40
場 所 : 地盤工学会 (JGS 会館) 会議室

出席者 (敬称略)

出席 : ○ (本部), ● (電子) 欠席 : ×

会 務	氏 名	出欠	会 務	氏 名	出欠
理事・編集委員長	石川 達也	○	企画・編集G委員	浅野 将人	×
編集副委員長	鈴木健一郎	○	企画・編集G委員	岡本 道孝	×
企画・編集グループ主査	福永 勇介	○	企画・編集G委員	金澤 伸一	×
第ⅠG主査	正田 大輔	○	企画・編集G委員	木内 大介	×
第ⅡG主査	長澤 正明	○	企画・編集G委員(シニア)	久保 博	×
第ⅢG主査	森 友宏	○	企画・編集G委員	藤原 優	×
第ⅣG主査	鎌田 敏幸	○	企画・編集G委員(学生主査)	松村 聡	○
講座委員長	野田 利弘	×	企画・編集G委員(学生担当)	牛塚 太基	×
講座委員会・幹事	中村 邦彦	×	企画・編集G委員(学生担当)	加島 寛章	×
北海道支部委員(企)	川口 貴之	×	企画・編集G委員	山中 光一	○
東北支部委員(Ⅱ)	荻野 俊寛	×	学生編集委員(北海道)	小笠原明信	×
北陸支部委員(Ⅰ)	大竹 雄	×	学生編集委員(東北)	畑下 侑輝	×
関東支部委員(企)	渡邊 諭	×	学生編集委員(北陸)	大木 拓馬	●
中部支部委員(Ⅳ)	酒井 崇之	●	学生編集委員(関東)	那須 郁香	○
関西支部委員(Ⅱ)	木元小百合	×	学生編集委員(中部)	沖野 頌悟	×
中国支部委員(Ⅲ)	中村 公一	×	学生編集委員(関西)	伊藤 真司	×
四国支部委員(Ⅰ)	野々村敦子	●	学生編集委員(中国)	渡上 正洋	×
九州支部委員(Ⅲ)	古川全太郎	●	学生編集委員(四国)	林 聖淳	×
			学生編集委員(九州)	伊藤 裕孝	×

本日の議事録担当委員 : 鎌田主査 (次回以降の予定 : 長澤主査→正田主査)

**議 題 :**

1. 前回議事録(案)の確認
  - 1) 運営委員会議事録(案) (8/21) (森主査/メール配信済 9.15) (別紙-1) pp.1-3  
 ⇒森主査より報告・承認された。
2. 全体関係
  - 1) 公益出版部会(9/11), 理事会(9/28)の報告 (石川委員長) (別紙-2) pp.4-13  
 ⇒石川委員長より報告された。「土木学会地震工学委員会からの要請と地盤工学会の対応について」、本会誌運営委員会において現時点の対応・対策はない。
  - 2) 31年特集テーマ(案)について (福永主査) (別紙-3) pp.14-18  
 ⇒福永主査より、昨年度のテーマ募集実績の説明。後日(メール配信済 10.10)、福永主査よりメールにて各編集委員にテーマ募集の依頼を行う。  
 12月開催の運営委員会にて決定する。
  - 3) 30年表紙デザイン(投票) (別添資料-1)  
 ⇒会議出席者による投票(多数決)の結果、過半数を得たD案となった。
3. 「地盤工学会誌」進捗状況について
  - 1) 全体の進捗状況 (事務局) (別紙-4) p.19  
 ⇒事務局より、現在、大幅な遅れはないことが報告された。  
 また、29年9月号に当初予定されていた「国内外の基準」は、30年度の掲載となる。したがって、2.2)の31年特集テーマに自動的に「国内外の基準」を入れる。
4. 担当グループからの報告および検討事項
  - 1) 企画・編集グループ (福永主査)

- ①学生編集委員会について（松村委員）
- ・30年記事（案）進捗状況 (別紙－5①) p.20
  - ⇒松村委員より報告が行われ、確認された。
  - ・記事（案）（審議）
  - \*4月号（大木委員） (別紙－5②) p.21
  - ⇒大木委員より報告・承認された。交通費については、地盤工学会で支払う。
  - \*5月号（那須委員） (別紙－5③) p.22
  - ⇒那須委員より報告された。交通費等詳細が決まったらメール審議を行う。
- ②特集記事以外の記事案について（福永主査）
- ・30年担当委員・進捗状況 (別紙－6①) pp.23-24
  - ⇒福永主査より報告が行われ、確認された。
  - ・記事（案）（審議）
  - \*H30年3月号（久保委員・木内委員） (別紙－6②) p.25
  - ⇒福永主査より技術紹介2件について報告が行われ、承認された。
  - \*H30年4月号（浅野委員・渡邊委員） (別紙－6③) p.26
  - ⇒福永主査より技術紹介1件、寄稿1件がそれぞれ報告された。技術紹介は、承認された。寄稿は、内容が確定された後にメール審議することとした。
- ③「自由投稿原稿」について（事務局）
- ・進捗状況 (別紙－7①) p.27
  - ⇒事務局より報告が行われ、確認された。
  - ・投稿概要（9/8メール審議採用決定分 No.1434） (別紙－7②) pp.28-32
  - ⇒事務局より審議済みであることが報告された。
  - ・投稿概要（再審査結果について No.1432） (別紙－7③) pp.33-36
  - ⇒事務局より報告された。運営委員会として、前高橋委員長名での修正依頼に対して十分な修正になっていないのであれば、同様の修正依頼を再度行う。
  - ・寄稿のお問合せについて (別紙－7④) pp.37-39
  - ⇒事務局より報告された。シンポジウムに関しては、「国内の動き」もしくは「寄稿」で掲載する。  
また、David Muir Wood 教授の講義に関しては、掲載月を30年7月号（特集号「地盤は連続体なのか？粒状体なのか？」）で掲載で構わないかを相談することとした。
- ④その他の投稿記事（事務局）
- ・進捗状況（書籍紹介） (別紙－8①) p.40
  - ⇒事務局より報告が行われ、確認された。
  - ・採用結果通知に関する報告 (別紙－8②) pp.41-43
  - ⇒事務局より報告が行われ、確認された。
  - ・投稿概要（書籍紹介1件） (別紙－8③) p.44
  - ⇒事務局より報告が行われ、条件付きで承認とした。会社名、商品名を伏せて欲しい旨を、紹介者の村上先生に通知することとした。
  - ・投稿概要（「資料」10月号掲載、11・12月合併号掲載予定） (別紙－8④) pp.45-46
  - ⇒報告が行われ、確認された。
- ⑤「読者モニター」について（事務局）
- ・29年6、7月号：アンケート結果 (別紙－9) pp.47-54
  - ⇒メール審議とする。今後は、運営委員会前に事務局からメールを送付して運営委員会にて審議することとする。

## 2) 第1グループ（正田主査）

- ・平成29年12月号（合併号）について：目次案 (別紙－10①) pp.55-57
- ⇒正田主査より報告が行われ、確認された。
- ・平成30年5月号について：構成案・公募結果（～9/15） (別紙－10②) pp.58-59
- ⇒正田主査より報告が行われ、確認された。
- ・平成30年9月号について：趣旨文案・構成案 (別紙－10③) p.60
- ⇒正田主査より報告が行われた。8月号「豪雨災害」、10月号「調査・設計・施工の最新技術全般」との重複がないような構成とすることとする。総説執筆者について、福永主査が国総研内にも適任者がいないか調べることにした。

- 3) 第2グループ (長澤主査)
- ・平成30年1月号について：目次案 (別紙-11①) pp.61-62  
⇒長澤主査より報告された。掲載順についても、承認された。
  - ・平成30年3月号 (ソウル会議) について：構成案 (別紙-11②) p.63  
⇒長澤主査より報告が行われ、確認された。
  - ・平成30年6月号について：公募中 (～10/15) (別紙-11③) p.64  
⇒長澤主査より報告が行われ、確認された。
- 4) 第3グループ (森主査)
- ・平成30年2月号について：目次案 (別紙-12①) p.65  
⇒森主査より報告が行われ、確認された。
  - ・平成30年7月号について：趣旨文・構成案 (11・12月合併号に公募予定) (別紙-12②) p.66  
⇒森主査より報告が行われ、確認された。
  - ・平成30年10月号について：趣旨文案 (別紙-12③) p.67  
⇒古川委員より報告があった。1月号「i-Construction」、9月号「防災/災害調査全般」との重複を避けるような趣旨文に修正することとした。
- 5) 第4グループ (鎌田主査)
- ・平成29年11月 (合併号) について：目次案 (別紙-13①) pp.68-70  
⇒鎌田主査より報告が行われ、確認された。
  - ・平成30年4月号について：構成案 (別紙-13②) pp.71-72  
⇒鎌田主査より報告が行われ、確認された。
  - ・平成30年8月号について：構成案 (11・12月合併号に公募予定) (別紙-13③) p.73  
⇒鎌田主査より報告が行われ、確認された。応募文の内容を見て、九州北部豪雨に偏っているようであれば、タイトル変更も視野に入れることとした。
5. 講座委員会から (中村講座幹事)
- ・今回はなし (開催なし)
6. その他
- 1) 原稿提出遅延の対応について (事務局) (別紙-14) pp.74-76  
⇒締切1 or 2週間前にリマインダーメールを送ることを含め、新日本編集企画浅井様と事務局が相談することとした。  
また、総説、論説記事の内容重複については、編集委員が総説、論説執筆者に内容重複を避ける調整の願いをして、調整結果についてもお伝え頂くようお願いすることとした。  
2016年4月11日付の「地盤工学会誌」運営委員会名の『特集記事の編集の流れ』という文章に付け加える等、審議された内容が蓄積されるようにすることとする。
- 2) 学会誌電子化検討と学会誌電子版ログイン方法の変更案内について (別紙-15) pp.77-81  
⇒報告が行われ、確認された。感想があれば、事務局 (新田様) に送付する。
- 3) H30年度予算について (別紙-16) pp.82-86  
⇒事務局が確認した後に、委員長、副委員長にメールにて送ることとした。
- 4) 次回運営委員会予定日：平成 29年 12月 日 ( ) 14:30～17:00 (28年度：28.12.13)  
⇒日程調整することとした。
- 《参考資料》地盤工学会誌掲載区分 (別紙-17) pp.87-89

<年間の開催予定> (年6回)

4月, 7月 (研究発表会にて全体委員会), 9月, 10月, 12月, 2月

[開催時期は27年度より変更]